

市民の多様な声を市のまちづくりへ

# 豊かで魅力ある

# まちの実現に向けて

# 市民委員が活躍中！

私がお説明  
します！



**渡邊大輔**  
委員長

成蹊大学文学部  
現代社会学科教授

第五期長期計画・調整  
計画から3期にわたっ  
て長期計画・調整計画  
の策定に携わる

## Q.1

市独自の計画策定方法  
「武蔵野市方式」とは  
どんなものですか？

### A.

市民や市議会議員、市職員の参加によって行われる計画策定をはじめとした、計画的な市政運営に関する仕組みです。武蔵野市では、昭和46(1971)年の第一期長期計画から、市民・議員・職員の三者で多様なコミュニケーションをとりながら行政計画を策定しています。



第六期長期計画・  
調整計画の策定に  
ついて

## Q.2

長期計画や調整計画とは  
なんですか？

### A.

「長期計画」とは、市の目指すべき将来像を明らかにし、計画的な市政運営を行うための「市の最も重要な計画」です。現在は、令和2(2020)年～11(2029)年を計画期間とする第六期長期計画に基づき、「誰もが安心して暮らし続けられる魅力と活力があふれるまち」を目指して市政運営に取り組んでいます。「調整計画」とは、長期計画策定後の社会の変化などを踏まえて計画の見直しを行うものです。

## Q.3

今回の第六期長期計画・調整計画  
の策定では、どのような議論を  
されていますか？

### A.

大きく分けると「健康・福祉」「子ども・教育」「平和・文化・市民生活」「緑・環境」「都市基盤」「行財政」について意見を交わし、計画の策定へつなげます。ただ、各分野には多くの個別計画があります。その最上位が長期計画ですので、市政全般について分野をつなぐための議論もしています。

市では長年、市民委員による策定委員会を中心とした市民・議員・職員参加による計画策定をはじめとする「武蔵野市方式」によって計画的に市政を運営しています。市民委員の役割は？長期計画とは？そんな疑問について、第六期長期計画・調整計画策定委員会の渡邊委員長に分かりやすく解説していただきました。



### Q.5

第六期長期計画・調整計画の策定委員会には  
どんなメンバーがいますか？

### A.

市内在住の学識経験者や有識者の方、公募により選出された方、  
副市長の計 11 名で構成されています。

#### ● 武蔵野市第六期長期計画・調整計画策定委員会メンバー（敬称略） ●

渡邊大輔 委員長	成蹊大学文学部現代社会学科教授
岡部徹 副委員長	東京大学生産技術研究所教授
木下大生	武蔵野大学人間科学部社会福祉学科教授
久留善武	一般社団法人シルバーサービス振興会事務局長
古賀祐輝	公募市民委員
鈴木雅和	筑波大学芸術系名誉教授
中村郁博	東洋大学大学院経済学研究科公民連携専攻客員教授
箕輪潤子	武蔵野大学教育学部幼児教育学科教授
吉田勢津子	公募市民委員
伊藤英穂	副市長
恩田秀樹	副市長

### Q.4

第六期長期計画・  
調整計画の策定の中で、  
特徴的な取り組みは  
ありますか？

### A.

コロナ禍以前から実験的に行っ  
たことはあるのですが、オンラ  
インでも委員会に参加したり、  
傍聴したりできるようになった  
ことです。さまざまな方が関  
わっていますので、対面だとス  
ケジュールの調整が難しいこと  
もありますが、オンラインが選  
択肢に加わったことで、より議  
論に参加しやすくなったのでは  
ないかと思います。

### Q.6

さまざまな意見が出たとき、話をまとめる  
上で委員長が心掛けていることは？

### A.

同じ市民とはいえ、経験・立場が違う中での議論となりますので、  
意見が対立することもよくあります。ですが、最初から全員が納得  
するなんてことはそうありません。自分たちの言葉でお互いが意見  
をぶつけ合いながら議論し、落としどころをどうするか悩んだり、  
探っていくためにも、意見の対立を避けないようにしています。



まちづくりには  
いろいろな方の  
意見が大切なん  
です

世代を問わず  
多くの声に耳を傾けたい



市政運営の基となる長期計  
画・調整計画は、市民と一緒に  
作り上げていくものです。その  
ためにも、一人でも多くの市民  
からご意見をお寄せいただきた  
いと思っています。特にこの冊  
子に手にされる中学生の皆さん、  
武蔵野市は子どもの権利条例が  
あるのをご存じでしょうか？  
これは、「子どもの意見もしつ  
かりと聞いて、計画に役立  
て」ということだと私は認識し  
ています。意見が必ず通るとは  
限りませんが、「なぜこう思う  
のか？」を伝えることはとても  
大事です。私たちは、その声を  
聞き逃すことなく受け止めたい  
と思っていますので、遠慮なく  
ご意見をお聞かせください。



● 古賀祐輝委員 ●

公募市民委員



● 渡邊大輔委員長 ●

成蹊大学文学部現代社会学科教授



● 箕輪潤子委員 ●

武蔵野大学教育学部幼児教育学科教授

## 策 定 委 員 座 談 会

# 私たちの意見で もっと魅力あふれる武蔵野市へ

市民の声が届く武蔵野市だからこそ、市の将来に関わる計画策定で

意見を交わす策定委員の役割はとて大きくなります。

そこで第六期長期計画・調整計画に携わる策定委員の方々に、

市独自の策定方法や思いを語っていただきました。

市政の計画と実行には  
市民参加が不可欠

● 渡邊 私たち策定委員は、市民という立場で第六期長期計画・調整計画を策定していますが、古賀委員には、公募市民委員として、この委員会にご参加いただいています。公募市民委員に応募しようと思ったきっかけは何でしょうか？

● 古賀 公募市民委員について知ったのは「市報むさしの」に載っていた公募案内です。以前、市の第二期スポーツ推進計画の策定委員会に参加したことがありまして、民間企業とは異なる視点から世の中を見る行政の仕事に興味を持ちました。あと、私には子どもが2人いるのですが、彼らの将来のためにもなれば良いなと思い、応募しました。

● 渡邊 策定委員会に参加して、ご自身に何か変化はありましたか？

● 古賀 市内のいろいろなことに関心を持つようになり、視野が広がったと思います。同時に、市民との意見交換会などを通していろいろな立場や悩みを知り、それらにどう対応していくかという行政の仕事の難しさも実感しています。

●渡邊 箕輪委員はいかがですか？

●箕輪 武蔵野市では保育・幼児教育に関わる委員をさせていただいたことはあるのですが、本委員会は特定の分野ではなく市全体に関わることなので、まちの課題などを広く意識できるようになりしました。「子ども」を念頭に考えて見ていたことが、世代を限定せずに捉えられるようになりました。

●渡邊 策定委員の活動において、どんなところにやりがいを感じますか？

●古賀 正直、いつも悩んでいます(笑)。「保育・幼児教育」という専門分野をもつ箕輪委員のように、専門知識のある委員の方々がいる中で、公募市民委員である私の考え方や発言の重みに不安といえますか…ちゃんとかみ合っているのかな？と。それでも、

自分の発言が結果的に市や市民の方々にとって良い結果につながるのであれば、悩みながらも参加させていただいたかいはあるのかなと思っています。この公募市民委員の活動は、民間企業の活動とはまた違った重みと面白さがある

あって、それもやりがいの一つとなっています。

●箕輪 私は、大学とか研究所に所属されている方だけでなく、古賀委員の

ように、公募による純粋な市民の方がいてくださるといえるのは、市の目指す将来像を実現する上で、とても大切だと思っています。専門家とは異なる視点の発言はとても必要で大事なことです。古賀委員が委員会に入っていたことで、意見の幅が広がり、策定についてより良い議論ができることが心強

くもあり、意見を交わせるつながりができたことにも感謝しています。

### 人々の声と交流が絶えない 活力にあふれたまちへ

●渡邊 武蔵野市の将来像について、思い描いているイメージはありますか？

●箕輪 今、住んでいる子どもたちが、大人になっても変わらず武蔵野市を好きでいてほしいです。そのために暮

らしやすいまちをつくり、維持していく必要があります。自分たちのまちは自分たちがつくるという意識が、どんな広がっていくとすてきですね。

●古賀 人々の交流や活動がもつと盛んになって、武蔵野プレイスやコミセンといった市民施設がいつもにぎわっている…そんなふうには、地域コミュニティが活性化するといいなと思います。

●渡邊 最後に、「季刊むさしの」は、市内の中学校にも配布されますので、中学生の皆さんに向けて一言どうぞ！

●箕輪 武蔵野市がどうなっていくかは、市民の声に懸かっています。皆さんも一人の市民として声を上げてください。私たちは、その届いた声をしっかりとすくい上げていきたいと思っています。

●古賀 行政の仕事って、なかなか正解がないのですが、それを手探りで見つけていく面白さがあります。カタい仕事と思わず、「どんなことをしているのかな？」なんて感じて少しでも興味を持ってもらえたらうれしいです！

## 市民の声が届く武蔵野市だからこそ、

## オンラインワンのまちづくりができています！

行政ってとても大変だけど  
意外に面白いですよね(笑)

策定委員になるといろいろ  
な気付きがあるんだよね

一人でも多くの市民の  
声を聞かせてほしい！



# 多様な声に耳を傾け 市政運営に生かしています

私たちも  
声を届けて  
います！

ここでは、「武蔵野市方式」における「市民参加」の主な取り組みを紹介します。

中高生世代から大人まで、さまざまな年代の方が計画策定に携わっています。



## 中高生世代との 意見交換会

参加いただいた27名の中高生世代と策定委員が、「住んでる・住みたい武蔵野市」について、グループに分かれて意見交換を行いました。



## 無作為抽出市民 ワークショップ

「市をより良くするためにできること」などについて、普段市政に参加する機会の少ない方が、対面およびオンラインにて話し合うワークショップを開催しました。



## 圏域別 市民意見交換会

計画策定における課題や論点についてまとめた「討議要綱」に対して、中央・武蔵境・吉祥寺の3圏域のほかオンラインで意見交換会を実施しました。



## 市民会議

応募いただいた18名の方が、「計画策定における課題やこれから必要な取り組み」などについて全4回の会議で議論しました。

武蔵野市の「推し」ポイントは、市だけで完結するところ。緑も遊ぶところもお店もあるから、大人になっても住みたい！



中高生世代との意見交換会



市の取り組みって知らないことがたくさん！「みんなに伝わる情報発信」としてどんなことができるかな？



無作為抽出市民ワークショップ



「学び」を通じて市民が成長し、市民活動やコミュニティ作りにつながるような取り組みが必要ではないか



圏域別市民意見交換会



民有地の緑が減っているね。「人材バンク」をつくって地域の支え合いで緑を守る取り組みがあるといいね！



市民会議



市民の皆さんの参加をお待ちしています。



詳細はこちら

現在、第六期長期計画・調整計画策定委員会では、9月に公表予定の計画案の作成に向けて議論を進めています。

計画案公表後、パブリックコメントによる意見募集を行うほか、3圏域での市民意見交換会、オンライン意見交換会を行う予定です。また、策定委員会は会場やオンラインで傍聴できます。今後の策定委員会での議論に注目いただくとともに、さまざまな意見などをお寄せください。

あらゆる世代や地域の方からの声を集めることができるよう、オンラインも含めた多様な市民参加の場を準備しています。こうした情報をしっかりと伝え、より多くの方に興味を持ってもらえるよう、これからもさまざまな市民参加の取り組みを進めていきたいと考えています。

企画調整課  
相馬陽香さん

